

分野	補完的な道路の整備			事業番号	86	事業名	県単道路改築			
市町村名	長野市	ふりがな 箇所名	(主)信濃信州新線 <small>しなのしんしゅうしんせん</small>		あさひまち 旭町	事業年度 <small>(完了年度は見込み)</small>	H24年度～	H28年度		
事業概要	計画概要 <small>(延長・幅員・面積・工種など)</small>	道路拡幅工 L=220m W=4.0(6.0)m				H23年度末事業進捗率	0%			
	H24年度以降残実施内容	同上				本工事費等ベース	0%			
	H24年度実施内容	物件調査、用地補償1式				用地補償費ベース	0%			
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残				
財源内訳	事業費計(千円)	120,000	0	0	29,000	120,000				
	国庫支出金	0	0	0	0	0				
	その他									
	県債	108,000	0	0	26,100	108,000				
一般財源	12,000	0	0	2,900	12,000					
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点		
	必要性 (30)	計画交通量	4,000台/日以上		1,500台以上～4,000台/日未満	1,500台未満	B	2		
		代替道路	唯一の道路である		代替となる道路がある			5		
		ネットワーク (道路網)	バス路線である		B 駅やICなどに通じるまたは 役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	A及びBに該当しない		5		
			ボトルネック箇所		ボトルネック箇所でない			0		
		観光地に通じる道路		観光地に通じる道路ではない		0				
		各事業特有の必要性(安全の確保)		4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	4.0m以上5.5m未満(幅員)	5.5m以上(幅員)		4		
		自動車と自転車・歩行者との分離を図る		歩道はあるが不十分であるものを再整備	自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない			0		
	他事業との関連		河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施			0				
	小計						16			
	重要性 (10)	設計上の環境・景観配慮	環境・景観配慮がされ確実性が高い		環境・景観配慮がされているが確実性が低い	環境・景観配慮をしていない	B	3		
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている		緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光圏整備実施計画認定地域に位置付けられている	特別な位置づけはない		3		
		小計							6	
	効率性 (20)	費用対効果	B/C(3便益)1.0以上		B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が見られる)	B/C(3便益)1.0未満	A	5		
		事業効果の早期発現(H24以降残事業年数)	事業年数 3年以内		事業年数 4年～5年以内	事業年数 6年以上		5		
		コスト削減	全体的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。		部分的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。	コスト削減はしていない		7		
小計						17				
緊急性 (20)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる		交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	交通事故や落石等の危険がない	B	6			
	各事業特有の緊急性(医療・福祉)	医療・福祉の連携が実現できる道路(ネック箇所の解消)		医療・福祉の連携が実現できる道路(円滑化が図れる)	医療・福祉の連携に関係ない道路		6			
	小計							12		
計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い		市町村からの要望	特に要望がない	A	7			
	事業情報の共有	関係者以外に広く周知		関係者中心に周知	特に周知していない		5			
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加		住民や市町村の意見を計画策定に反映	特に住民意見は反映していない		4			
	小計							16		
費用対効果(B/C)		1.3		評価の合計		B	67			
事業周知	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は地域の生活道路となっており、信州新町と小川村を結ぶ重要な路線である。現道は幅員狭小、線形不良のため乗用車同士のすれ違いが困難な状況であり、生活の支障となっている。								
	地域からの要望経緯	信濃信州新線改良促進期成同盟会から、毎年要望活動が行われている。								
	事業説明等の経緯	H23年9月に事業計画説明会を実施。								
	環境・景観への配慮項目	できるだけコンクリート構造物ではなく、かご枠工や植生工等を用いて、環境へ配慮。								
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。								
特記事項	支所や地元と調整を図りながら計画策定している。									
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	生活道路としての安全確保を図るとともに、住民の生活環境の向上に寄与する事業であるため、H24年度から事業化をしたい。			政策評価課 意見	拡幅改良の必要性は認められる。					